

カトリック二俣川教会  
教会だより



# 二十六聖人

2023年 2月号

No. 355 (2023年1月29日発行)

カトリック二俣川教会 TEL 045-391-6296

<http://www.futamatagawa-cc.com/>

主任司祭：ヤコブ 姜 真 求 (カン ジング)

## 巻頭言：イエス様の二つの四十日

クリスマスから数えて四十日目の日となる二月二日、全世界の教会は「主の奉獻の祝日」を祝います。その日、マリアとヨセフは自分たちの初めての子である赤ちゃんのイエス様を神様にささげ、また、マリアの清めのための捧げものをささげました。(ルカ 2,22~24) それは、出エジプト記に書いてある長子に関する規則(出エジプト 13, 2. 13. 15.)と、レビ記の産婦に関する規則(レビ 12, 8)を守るためのことでした。それらの規則によると、男の子を産んだマリアは、先ず、その出産の清めの期間として七日を自粛し、更に、三十三日を家に留まらなければなりません。そして、その四十日の期間が終わると、産婦はようやく外に出ることができます。そこで、マリアとヨセフはイエス様の誕生日からの四十日目の日、赤ちゃんのイエス様を神様にささげ、マリアの清めのための規則を行ったのです。ということで、教会はイエス様の降誕祭から四十日目の日を「主の奉獻の祝日」として祝っているわけです。

ところで、成人となったイエス様は洗礼者ヨハネから洗礼を受けて、聖霊によって荒野に行かれ、そこで四十日を過ごされました。その間、イエス様は悪魔から誘惑を受けましたが、イエス様は「人はパンだけで生きるものではない。神の口から出る一つ一つの言葉で生きる。」、「あなたの神である主を試してはならない。」、また、「あなたの神である主を拝み、ただ主に仕えよ。」という言葉でその誘惑に打ち勝たれました。そして、イエス様は救い主としての道を歩み始められ、ついに十字架上でご自分の命をささげ、神様の小羊としての使命を果たされたのです。その使命とは、すべての人の救いのためのいけにえとなることでしたが、そのいけにえによってわたしたちの罪は赦されて、神様の子供として認められ、また、受け入れられたわけです。それを考えたら、イエス様はご自分の活動を始める前の四十日の間、荒野でその使命を準備しておられたのが分かります。そして、その荒々しい所で、神様だけ

に全てを任せることを悟り、ただ、ご自分を清くされたに違いありません。それは、神様の愛と慈しみに基づいた救いの計画を成し遂げる清い小羊となるためだったでしょう。

**このように、**イエス様の人生の中には、「二つの大事な四十日」がありました。それは、生まれてから神様にささげるまでの四十日と、救い主としての活動前の四十日です。先の四十日の間、イエス様は旧約の規則である律法によって清められましたが、それも神様のはからいだったでしょう。つまり、神様はご自分の独り子を旧約の規則に従わせ、その契約とそれに忠実に従った人たちをも清められたわけです。それは、新しい契約のためのもので、神様はイエス様のもう一つの四十日の間、その新しい契約を結ぶための清い小羊としてイエス様を備えられたのです。こうして、イエス様はその二つの四十日を通して、世の中の考えや生き方ではなく、神様の小羊としての生き方を学び、それに沿って救い主としての道を歩みぬかれたのです。

**そろそろ、**わたしたちにも大切な四十日である四旬節が近づいています。この四十日は信仰生活においても、普段の生活においても、とても大事な「清めのための時」なのです。それは、イエス様の死と復活に与るための時であり、その四十日の間、わたしたちも清くなるために務めなければなりません。そのために、祈りと節制が伝統的に勧められていますが、特に、今までの自分の信仰生活や日常の生活を振り返り、赦しの秘跡を通して、様々な悪習と過ち、罪から自分を清めることが大事だと思います。その祈りと節制、また、赦しの秘跡を通して、わたしたちも神様の小羊であるイエス様のように清くなり、イエス様と共に神様の救いと平和をもたらす人となれるでしょう。今年の大事な四十日の間、自らを清め、改めて神様にささげるのはいかがでしょうか。

主任司祭 ヤコブ 姜 真求



## 2023年1月教会委員会報告

### 【神父様のお話】

昨年の「こどもたちのクリスマス会」に参加して、スクリーンが見づらい・音声が届きづらいと感じました。モニターを導入、マイク使用などで信徒の教育環境の改善を図って下さい。

SDGs (エス・ディー・ジーズ) \* を教会としてどのように実践できるかを考えてみたらどうかと言う思いがあります。各委員会や各会が社会の重要な変化を生かす事を考えて下さい。(最後に注\*があります。)

1年の計画を立て、定期的にメンバーと活発な意見交換を行い、次に繋げるよう進めて下さい。そのような活動がないと旧態依然とした教会に留まり、刷新されない状態が続く事が考えられます。信徒の皆さんが、神様に導かれ働くことが出来るようお祈りします。

### 【今月の検討項目】

1. クリスマス献金状況確認と寄付金送金実績報告：献金額は、645,616円(12/25時点)、7団体に620,000円の寄付を実施(昨年と同額)。

## 2. 信徒集会スケジュールに関して

2023年二俣川教会の基本方針（案）骨子の説明がなされ、それに基づきスケジュールが決定された。

- ・1月27日（金）までに各会・委員会より骨子に関する意見/提案等募集
- ・2月5日（日）教会委員会にて教会基本方針提示
- ・2月28日（火）までに各会・委員会活動実績・活動計画書提出
- ・3月12日（日）信徒集会

## 3. エレベーターリニューアルに関して

教会のエレベーターを安全に運行するために、大規模リニューアルが必要であることからエレベーターのリニューアルを実施する事にした。

## 4. 日本二十六聖人委員会

2月5日（日）日本二十六聖人のゼッケンを着けて入堂する事を再開する事とした。

## 5. 視覚障がい者の為の施策

視覚障がい者用の「聖書と典礼」を社会福祉法人ぶどうの木「ロゴス点字図書館」に依頼する。

## 6. 地区世話人用信徒名簿更新に関して

地区世話人連絡室より、信徒名簿更新、レターケース取り扱い、信徒集会に関する情報発信をしていただく。

## 7. 事務所

- ・集会室利用申込は、事務所の所定用紙に利用予約をして下さい。（3年前と同方式）
- ・「今週のお知らせ」掲載に関わる事は、口頭ではなく、履歴が残るメールにて迅速に事務所に連絡して下さい。

## 8. 各会報告

### ①典礼

- ・枝の回収は1月25日（水）～2月15日（水）にて実施。
- ・2月2日（木）主の奉献（祝）10時ミサでのローソクの祝別は、家庭で使う新しいローソクを祝別します。当日ミサに与るこ

との出来ない方は、ローソクに名前を付けて事務所に預けて下さい。

- ・2月22日（水）灰の水曜日のミサは10時ミサのみです。尚、後日灰を受ける事を希望される方は、2月26日（日）まで受ける事が出来ます。司祭に申し出て下さい。
- ・2月24日（金）から毎週金曜日9:20～「十字架の道行き」があります。

### ②教会学校

- ・1月29日（日）世界こども助け合いの日の献金の呼び掛け。
- ・1月15日（日）の教会学校で主旨を説明し献金袋を配布し協力を求める。

### ③キリスト教講座

- ・入門式は、11月25・26日、12月21日に分けて行われた。
- ・2月8日（水）聖書百週間の終了式。
- ・2月25日（土）水上健次神父様の指導で黙想会・ゆるしの秘跡が行われます。
- ・12月3日（日）司教様司式で堅信式が行われます。

### ④福祉

2022年12月26日に、皆様からの年末福祉献金を各福祉団体にお贈りしました。

### ⑤建物

集会室で映像を簡単に写せる環境整備のため大型モニター購入も視野に、PCからモニターに直接接続する環境を準備する。

### ⑥ヨゼフ会

- ・12月18日（日）第2回コーヒー光、ヨゼフ会例会を実施。
- ・第3回コーヒー光は1月8日（日）に実施。
- ・スリランカへの送金を確認（スリランカの子供達への支援の礼状が委員で回覧されました。）

### ⑦マリア会

- ・ボリビア支援グループ：1月8日（日）ジャム対面販売を実施、好評で完売状態です。

対面販売の大切さを感じたとの報告がありました。

・1月29日（日）11時ミサ後、マリア会総会を聖堂にて開催いたします。

#### ⑧青年会

・「新成人のお祝い」に関して教会委員会にて説明が行われた。

・12月18日（日）青年会定例会実施

テーマ：「新成人ミサ」について

・活動報告 1) キャンドル作り（有志で）  
2) クリスマスミサにてお餅配り手伝い

#### ⑨インターファミリー

・12月18日（日）ミーティング実施、「アルペなんみんセンター」宛に10通のカードを贈る。

・次回ミーティング 1月22日（日）2023年計画立案／2023年基本方針への意見出し

⑩第三地区委員会：1月15日（日）第三地区宣教司牧委員会（於：港南教会 15時～）

⑪一粒会：1月22日（日）第三地区一粒会打ち合わせ（於：二俣川教会 15時～）

以上

注\*：持続可能な開発目標（SDGs）とは、すべての人々にとってよりよい、より持続可能な未来を築くための青写真です。貧困や不平等、気候変動、環境劣化、繁栄、平和と公正など、私たちが直面するグローバルな諸課題の解決を目指します。SDGsの目標は相互に関連しています。誰一人置き去りにしないために、2030年までに各目標・ターゲットを達成することが重要です。

国際連合広報センター：

[https://www.unic.or.jp/news\\_press/features\\_backgrounders/31737/](https://www.unic.or.jp/news_press/features_backgrounders/31737/)

## 二俣川教会 典礼ニュース

- 主の奉献（祝）：2月2日（木）** ミサの中でろうそくの祝別をおこないます。当日来られない方は新しいろうそくに名前を付けて、事務所にお持ちください。
- 日本二十六聖人殉教者の祝日：2月5日（日）**  
今年ちょうど日曜日（主日）にあたります。11時のミサの際には久しぶりに、26人の殉教者のゼッケンをつけて入堂する予定です。
- 灰の水曜日：2月22日（水）** 10時のごミサのみになります。この日時に都合がつかないけれども灰を望まれる方は、2月26日まで受けることができます。司祭にご相談ください。
- 黙想会：2月25日（土）** 下記案内をご参照ください。
- 受難の主日：4月2日（日）** 枝の主日
- 聖木曜日：4月6日（木）** 主の晩餐
- 聖金曜日：4月7日（金）** 主の受難
- 聖土曜日：4月8日（土）** 復活の聖なる徹夜祭（洗礼式）
- 復活の主日：4月9日（日）** 日中のミサ

## 黙想会のご案内

四旬節の黙想会が水上健次神父様（保土ヶ谷教会）のご指導により行われます。黙想後、ゆるしの秘跡・ミサも行われます。（水上健次神父様の二俣川教会での初ミサになります。）

**「黙想会とは、イエス様と出会う方法であり、その出会いを通してこそ自分自身を改めて見出すことができる。」**と教皇様がお話ししてくださいました。（2021年4月8日 一般謁見）

黙想会の仕方はいろいろありますが、二俣川教会で行う黙想会は、テーマを決め、神父様の講話を聞き、祈りのヒントを得て祈れるようになっています。黙想の間は基本的に沈黙です。意識の深いところでイエス様と出会い、交わるためです。日常生活から離れてイエス様だけに向かう、恵みの一日になりますように。ひとりでも多くの方々の参加をお待ちしています。

日時	2月25日（土）	13：00 受付
		13：30～15：00 講話
		15：00～16：00 ゆるしの秘跡
		17：00～18：00 ミサ
		（講話とゆるしの秘跡のあいだに休憩が入ります。）

場所 カトリック二俣川教会聖堂

講師 水上 健次 神父様

テーマ 四旬節の過ごし方と四旬節の意味

\* コロナの感染状況により、変更の場合もあります。その時は改めてお知らせいたします。

キリスト教講座委員会

\*\*\*\*\*

### 姜神父様、55歳のお誕生日 おめでとうございます！

1月22日の11時の主日ミサの中で、姜神父様の55回目のお誕生日のお祝いに花束を贈りました。（お誕生日は1月25日）お祝いと共に、姜神父様が二俣川教会に着任されて満5年を迎えられたことに感謝を致しました。5年の内、3年間はコロナ禍という状況の中でいつも私たちと共にいて、守り導いてくださいました。これからも健康に共に歩いていくことができますように。そして長く、日本で働いていただけますようにお祈り致しましょう。（ヨハネ五島 T. T. 君が花束を渡してくれました。）



## ドミニコ タン・ホアン・フィー助祭が 久しぶりに二俣川教会に帰ってきてくださいました！

ドミニコ タン・ホアン・フィー助祭は今年、司祭叙階を目指していらっしゃいます。準備のためにベトナムに帰国されますが、その前に1月8日、二俣川教会に帰ってきてくださり、お元気な様子とお祭奉仕を見せてくださいました。



第2の実家のようなこの二俣川教会に帰ってきてくださったフィー助祭に、私たちからの激励の印として花束をお渡ししました。叙階式が行われる時、その場所はベトナムですが、司祭叙階に向けて皆さんでお祈りして参りましょう。そして、次にお迎えするときは初ミサ。それを楽しみに致しましょう。

『タイフィーコーレン！』 ※ベトナム語で“頑張ってください”の意味。



フィー助祭は現在36歳、ベトナムの南部にあるドンナイという街の出身。「信仰の宣教修道会」で誓願をたてた修道士で、修道会から派遣されて2015年7月末に来日。二俣川教会にいらしたのは来日から2017年4月までの約1年と8ヶ月。昨年4月に助祭叙階。

## 韓国の2家族が二俣川教会に来てくださいました！

1月8日、議政府教区のトクケドン教会(姜神父様が来日前に司牧されていた教会)から2つの家族(8名)が来日され、二俣川教会で一緒にごミサを捧げてくださいました。韓国の青年たちはとても美しい侍者奉仕を見せてくださり、二俣川教会の中高生や青年たちは韓国の“教会の兄弟姉妹たち”と親睦を深めることができました。



〔日本の高校生たちに出会の感想を聞いてみました〕

①はじめての韓国人のお友達。ワクワクとドキドキの出会い。韓ドラをたくさん見てきた成果と日本語が上手だった韓国人青年のお陰との両方で、半分は翻訳機なしで会話できました！みんなとても優しく、神父様のことを大好きなことがすごく伝わってきて私もみんなのことが大好きになりました。初めて会ったとは思えないくらい仲良くなれてすごく嬉しかったです！！また会いたいです♡

②海外からの交流は普段ないので、とても良い機会になったし、違う文化を知れてとても楽しい時間を過ごしました。韓国人青年たちと神父様との距離が近くて、見ていて凄くホッコリしました。

# 1月15日、二俣川教会の新成人をお祝いしました！！

今年は、12名の対象者のうち6名がお祝いのごミサに参加しました。コロナが始まった時に高校を卒業して青年として歩み出した年代の皆さんです。それぞれの大変さがあったかと思いますが、元気に大人になった姿を見せてくださいました！この日、教会は生き生きとした雰囲気になりました。

今年の教会からのお祝いの品は、例年とは趣向を変えて「ロウソク」を用意しました。青年たちが新成人ひとりひとりの洗礼名とお名前をロウソクに刻み、希望の春を思い起こさせる桜を描いたロウソクです。新成人たちがそれを持って入堂し、祭壇の十字架に捧げました。これからも二俣川教会共同体みんなが若者たちを支え、助け合っていくことができますように。



## 新成人に二十歳の抱負や近況を聞きました♪

(ミサ中でのインタビューを書き起こしました)



二十歳になった W. M. です。今は、近くのセブンイレブンでマネージャーをやっています。今年の抱負は、健康に元気に母親と仲良く出来ることを祈っています。今年もよろしくお願いします！

二十歳になった K. N. です。今は学生を頑張っています。今年の抱負は、心身共に健康で尚且つ家族のために頑張っていく一年にしたいと思います。ありがとうございます！



O. C. です。今年の抱負は、大学でやりたいことを頑張って見つけます。ありがとうございます！

O. M. です。今年の抱負は、とりあえず楽しく生きていこうと思います。ありがとうございます！



M. T. です。今、大学に通っていますが、最近ちょっと忙しくて来られていないので(教会に)頑張って課題とか終わらせて来ようと思います！

成人を迎えました、O. M. です。今年は…そうですね、ちょっとご無沙汰になってしまったので、今年はずっと教会に顔を出せるようになればいいなと思います。ありがとうございます！



### 【当日参加できなかった今年の新成人】

M. C. V. ・ モニカ S. C. ・ ミカエル F. A.  
マリア T. M. ・ マイケル T. M. ・ ルミ H. R.

# 『日本二十六聖人 を 知ろう！』

## ～ 学び、共に歩む ～

### Vol. 5: 殉教の道 京都から長崎西坂へ

#### 【二十六人の殉教の歴史的背景】

豊臣秀吉は、1596年、イエズス会の後に来日したフランシスコ会の活発な宣教活動が自分の出した禁教令に対して挑発的であると考え、石田三成に命じて、京都に住むフランシスコ会員とキリスト教徒全員を捕縛して処刑するように命じた。その結果フランシスコ会員7名と信徒14名イエズス会関係者3名の合計24名が捕縛された。道中で付き添いの2名も捕縛された為合計26名となる。

#### 《下関》

1月27日、ここまで陸路だけをとってきた一行がはじめて下関から小倉まで船で渡った。殉教者たちの腫れ上がった足はひととき休まったが、吹き荒ぶ潮風にさらされ苦しさは少しも変わらなかった。

#### 《長崎-1》

役人は幼いルドビコを見て哀れに思った。「お前は信仰のゆえにはりつけにあう。だからその信仰を棄てたらどうだ。そうすれば、お前の縄をほどいて自由にさせてやろう」ルドビコは言った。「お武家様こそ、キリシタンにおなりになり、私がやがていくパライスにおいてなされるのが、ずっとよいことです」

#### 《長崎-2》

最後の殉教者はパウチスタ神父。役人たちが神父を最後にしたのは、処刑されていく殉教者たちを見てその恐ろしさから神父が信仰を棄てるのではと考えたから。しかし神父は自分よりも早く天国へ召されていく殉教者たちに、十字架の上から祝福を与えながら、「父よ、わが霊をおん手にゆだね…」とイエス様と同じことばを静かに唱えながら天にのぼっていった。

《岡山》

1月16日岡山城下を発つ。24人の中で最高齢(64歳)ディエゴ喜齋の故郷。久しぶりに訪れた故郷で家族や友人達の事を思い出したことだろう。川辺から三原まではキリスト教に嫌悪感抱く毛利一族の護衛役人となり厳しい対応が行われた。

《京都》

24名は京都の堀川通り一条戻り橋で左の耳たぶを切り落とされ、市中引き回しとなった。1597年1月10日、長崎で処刑せよという命令を受け、一行は大坂を出発、歩いて長崎へ向かうことになった。

《広島》

京を発ち二週間がすぎた。尾道から三原まで歩いた日の夜、三原城牢内でトマス小崎少年16歳は残した母へ手紙を書いた。

「神の御助けによりこの手紙をしたためます(略)私のこと、またミゲル父上のご心配くありませんように。パライス(天国)ですぐにお会いできることを希望しています。お待ちしています(略)」

《大阪》

道中でイエズス会員の世話をしよう依頼されて付き添っていたペトロ助四郎と、フランシスコ会員の世話をしていた伊勢の大工フランシスコ吉も捕縛された。二人はキリスト教徒として、己の信仰のために命を捧げることを拒絶しなかった。

† 二十六聖人が歩んだ道のエピソードの一部をご紹介します。殉教者たちの信仰宣言に満ちた道のりを知り、味わい、取り次ぎを祈るヒントになりましたら幸いです。†



## マリア会通信 No.124

新しい年が始まりました。今年も心身ともに元気に過ごしたいですね。コロナの終息を待ち望み、じっと耐えてきたはずなのに、よっぽどウィルスの方が元気で賢いようで、次々と現れる変異株の出現で一向に安心できる状況が得られませんね。

その中でも季節の移り変わりは私たちの気分を盛り上げてくれます。



私にとって早春の思い出と言えば「春節」です。娘の大学受験の結果発表を聞いたのは中華街の龍踊りの真っ最中。ドラの音が大きくて、地方から電話をくれたのに全く聞こえず「明日にして」と。吉報だったのに。未だに恨まれています。

中国の人たちにとって「春節」は、私達がお正月を迎えるのと同じです。年越しの時に私達がお蕎麦を食べるように、中国でも縁起の良いものを食べます。その一つが餃子です。



私の嫁ぎ先の両親は満州に長く暮らしていたので、嫁いで直ぐはニンニクや唐辛子の入った食事の違いにかなり戸惑いました。その中でも餃子づくりは印象的でした。まずびっくりは、餃子は焼かずに、鍋で茹でて食べる水餃子だったこと。作る数も多く、ひとり 30 個を目安に家族全員で中の具を包みます。一人ずつ片栗粉を振った新聞紙を広げて、黙々と包む姿はカルチャーショックでした。こうして春節の準備は家族全員で賑やかに行われました。

中華街では 11 月から春節燈火というランタンやイルミネーションのイベントが行われています。2 月 5 日までですが、暖かくして春を感じにお出かけになりませんか？

マリア会 K. M.

\*\*\*\*\*

### 【編集後記】

広報委員会の一員となって半年余り。“伝える”、“わかちあう”ことは大好きだけれど、今月号が終わったらもうすぐに翌月号のこと…更にその先の計画…。編集の仕事はノンストップ。ずっと携わってきた方々に頭が下がります。今年はホームページもブラッシュアップして、もっと二俣川教会の世代間を繋いでいけたらいいなと思っています。また、“二十六聖人委員会”が立ち上がりました。難しいお勉強ではなく、二俣川教会の信徒が共通に持つ信仰の模範、守護の聖人の取り次ぎをもっと深く知り味わっていったら…頂いているお恵みをもっと内面化していったら…そんな風に思っています。

(Y. O. 記)